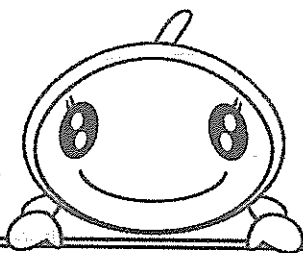


第5号

R1.8月



【発行・編集】
滑川町教育委員会
TEL0493-56-6907

回
覧

町の子供は町で育てる 滑川町教育委員会だより

「189」を知っていますか。

子育てをしていると、言うことを聞かないなどの態度にイライラすることもあります。つい、叩いたり怒鳴ったりしてしまうという人もいるかもしれません。体罰や暴言は、恐怖により子供をコントロールしているだけで、なぜ叱られているか子供が理解できていないこともあります。自分は「愛の鞭（むち）」と思っている行為が「虐待」になっています。子供時代に体罰や暴言によりつらい体験をした人は、脳の「社会生活を営む部分」や「声や音を感じ取る部分」が減少したり、変形したりするなど変化が生じるという研究結果もあります。

子育ての悩みがある人は、相談する機関がたくさんあります。その一つが「189（いちはやく）」＝児童相談所全国共通ダイヤルで、児童相談所につながります。

今は、家族の単位が小さくなっています。夫婦や家族、周囲の人々と支え合い、行政などの支援も使いながら子育てをしていきましょう。

町の無料相談

●滑川町教育相談室 56-6193

幼児、小中学生とその保護者を対象とした学校生活や教育に関わる相談
(平日のみ、10:00~12:00、14:00~15:30)

●スクールソーシャルワーカーによる相談 56-2311

児童・生徒の発達状況、家庭状況、友人関係、学校や地域の問題等
(毎週月・水・金、9:00~16:00)

※スクールソーシャルワーカーとは、子供たちの抱える問題に対応するため、福祉等の関連機関との連携を図ったり、保護者・教員を支援する専門相談員です。



子どもの健やかな成長のため、こんな取り組みをしてみてください！

家族で「話しタイム」

誰でも他者から認められたいと思っています。認めたり、褒めたりする言葉がけや態度は大切です。これは、自分を大切にできる気持ちだけでなく、相手を大切にできる気持ちを高めることにつながります。

何事にも「チャレンジタイム」

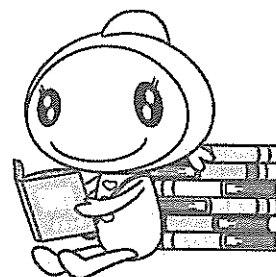
挑戦することは、成功と失敗がつきものです。成功したときには大いに褒めてあげ、自信をもたせてください。失敗したときには、挑戦したことを褒め、再度挑戦したいと思う気持ちをもたせてください。

学校は夏休みに何をやっているの？

児童生徒がいない夏休み中、学校は何をやっているのという質問をされることがあります。今回は、小中学校の夏休み中の取組について紹介します。

<夏休み中の学校の取組>

●**教員研修**：教員研修には、校内での研修、校外での県主催の研修、町主催の研修等があります。その中には、初任者研修や中堅教員研修など、教職経験ごとの法律で決められた研修、本人や学校のニーズに応じて参加するメンタルヘルス、特別支援教育、教育相談、人権教育、プログラミング教育等に関する研修など、多種多様な研修があります。個人または全員で参加する研修も含め、ある小学校では、64回の研修に参加していました。教職員は、研修を通して資質・能力の向上に努めています。



●**三者面談や各種団体との連携のための協議**：家庭・地域との連携を図っています。

●**2学期に向けての職員会議や各種会議**：来学期の準備をしています。

●**学校の施設や備品の点検修繕、校舎・校庭の整備**：教育環境の整備、充実を図り、安全・安心な学校を目指しています。

<夏休み中の教育委員会の学校への取組>

●**学校閉庁期間（8月11日（日）～8月16日（金））**

子供たちのリフレッシュを図るとともに、家族・親族とのふれあいの時間の確保や、地域活動への参加の促進、夏季における学校の省エネルギー対策、教職員の健康保持を目的として実施しています。

お知らせ

戦争の悲惨さと平和の尊さを若い世代に語り継ぎ、その記憶を風化させないための事業として、**平和啓発パネル展『テレジン収容所の若い画家たち展』**を、8月1日（木）～18日（日）8時30分～21時30分まで、滑川町コミュニティセンターの1階ラウンジで開催いたします。

また、**講演会（『命のメッセージ～テレジン収容所の子どもたちの絵の語るもの～』**）に野村路子氏をお迎えし、8月17日（土）14時より滑川町コミュニティセンターで開催いたします。講演会の申込みは、8月9日（金）までに総務政策課総務担当へ電話（56-2211）をお願いいたします。

